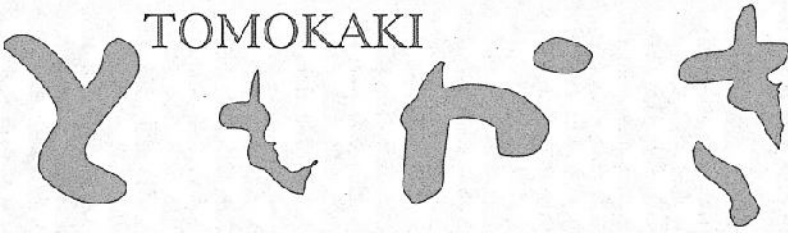


三田高校

TOMOKAKI



第29号

発行所/東京都立三田高等学校

(青葉会・同窓会)

港区三田1-4-46 3453-1991 (代)



水から教わる
校長 揚村 洋一郎

言葉の皆様に、日頃より何かと定時制の教育にご協力頂戴して深く感謝致しております。生徒諸君は、勉強にクソ活動にと元氣よく勤しんでいます。とくに、スポーツ部門では砲丸投げで角大輔君、四百mで大山沙織さんが全国大会に出場しました。夏休みも終わりを迎え、いよいよ一学期が始まります。この学びの季節を、生徒が将来に向かって自信と夢をもたせる機会としたいと思っております。

さて、今夏機会があった栃木県にある雲巖寺という古いお寺を訪ねました。そこで、住職の書かれた「水五則」という半紙の書き物をいただきました。そこには、人の生き方に比べながら、水の性質が五つ簡潔に書かれていました。参考になることが多いと思うので、少し説明をつけながら紹介してみます。
一、自ら活動して 他を動かさぬは 水なり
水は高いところから低いところへ地形に応じて、石や流木を運びながら流れつづけているので。
私たちも、水のように、自分から活動する活力を身につけて、その力を、自分のためにも、社会のためにも、發揮するよに心がけたいですね。
二、常に 自己の進道求めて止まざるは 水なり
水は、静止してしまふことではないのです。常に、低いところへ低いところへと自分道を切り開いて進むこととしていくのです。
私たちも、長い人生、常に正しい生き方とは何かを考えて、真理の追究のために努力を続けられる人になりたいですね。
三、障礙に逢い 激してその勢いを百倍し得るは 水なり
水の流れる先には、岩や大木などの障害がたくさん待ち受けています。しかし、その障害にひるむことなく、濁りとなったり、急流となったりして、かえって流れに勢いを付けていくのです。
私たちも、困難に出逢ったとき、それを試練として耐え、大きく成長してしまふような人になりたいですね。
四、自ら清うして 他の汚れを洗うは 水なり
私たちも、自ら修養して心を清らかに保つとともに、他の人にもそれを広げられるようであれば素晴らしいですね。

五、洋々として大洋をみたり 発しては蒸気となり 雲となり 雨となり雪と変じ霧と化し凝っては玲瓏たる鏡となりて しかむその本性を失わざるは 水なり
私たちにも、それぞれ個性があります。顔も違えば、体つきも性質も違います。言葉や習慣だって違ふことがあります。しかし、みんな同じ人間なのです。どのような職業、地位にいたとしても、人間としての心を忘れてはいけないと思います。
以上のは、少し難しい文言だと感じますが、生徒向けの学校だよりと考えているものです。人として、眞摯に物事を受け止めることが少なくなつたこの時代に、懸命に生きる若人や生涯をかけて学習する定時制生徒に伝えたいと思います。



Kさんのこと
副校長 矢島 賢二

二田高校に通い始めてから早いもので、もう三回目の夏を迎えております。
私は例年、夏にはどこかへ出かけるのを楽しみにしてきたのですが、生憎今年、神奈川や東京での全国大会となり、東京で過ごすことになりました。虎ノ門で、給食の全国大会、そして横浜では全国定通教育振興会がありました。
さて、全振横浜大会では、東京都の振興会のKさんと親しく歓談することが出来ました。Kさんは、二十四歳の時すでに父親の意志を継いで社長さんを勤めており、その

業や、地位にいたとしても、人間としての心を忘れてはいけないと思います。
今年三月四日に卒業式が挙行され六名の方が卒業し、青葉会の会員になりましたが、例年四月に行われる入学式はありませんでした。いよいよこの時が来たという感じですが、しかし、在校生の皆さんは定通制陸上競技の全国大会に出場する等元氣に活躍しています。
昨年十一月二十三日の二年振りの青葉会総会・懇親会には、周年行事を無くす例を見ない多数の皆様にご出席いただきました。例年出席数の少ない総会にも教室に座り切れないほどの方にご出席いただき、今後の同窓会の在り方について、熟い思い、ご意見を頂戴し、盛会のうちに終わることができましたことをお礼申し上げます。



平成16年度総会懇親会
多数ご参加に感謝
会長 若月 義男

また、昨年は面倒なアンケートをお願い致しましたが、百十二名の方から回答をいただき、ありがとうございました。アンケート結果の概要につきましては後段の記事に掲載いたしました。昨年の「ともかき」で「二十年以降は学校での開催はできません」との記事に対して、ご批判、ご意見をいただきました。
現在学校では、同窓会資料保存等のための「メモリアルホール」を検討していただいておりますし、二十年以降は貸出しませんということではありません。しかし、定時制の先生もいなくなるし、セキユリティの面からも現在のように夜遅くまで幹事会で使用する事は難しいだろうとの推定からの記事です。誤解をお招きしたことに對し、お詫びを申し上げます。
次の総会は、二十年一月の閉校の時点で学校側の行事と併せて企画したいと考えています。
最後になりますが、ともかきの原稿をの願ひいたいただきました皆様、厚く御礼申し上げます。
本年度の「青葉会総会」は開催致しません。